

社会福祉法人 健修会 介護老人福祉施設 いずみ苑

家族交流会 議事録

日時：2024年11月3日（日）14時～15時半

参加者：西大路 純子（施設長）他、介護・看護主任、各階フロアリーダー、管理栄養士2名、各階ユニットリーダー、事務員等総勢14人

利用ご家族様 32名

—報告内容—

【相談員】

① 事故、ヒヤリハット発生状況について

今年4月からの報告を集計しています。総数237件、内事故が220件、ヒヤリハットが17件でした。事故の内訳は転倒・転落、服薬事故、誤嚥や誤飲・異食、内出血やすり傷など。前述の件数がとても多く感じられますが軽微な事故も含まれます。

転倒・転落が55件、次に服薬事故は46件。誤嚥や誤飲、異食は0件でした。

その内、受診を要した事故は相談員より宇都宮市に報告しています。件数は15件。職員の不手際によるもの、自由な環境ゆえ発生したものそれぞれあります。受傷をされた入居者様の経過も様々でしたが現在のところ皆様問題なくお元気に過ごされています。

これらの事故は全体で報告書の作成をした上共有しており、全フロア職員交えてカンファレンスを実施し意見を出し合うことで対策予防をしています。

職員介助中の事故は10件。直近では、夜間消灯後2時間おきに巡視をすることになっていますがトイレにて入居者様が転倒しており発見が遅れた事故がありました。

また、ある入居者様が他入居者様へ手をあげる行為が確認された事故もありました。被害入居者様、ご家族様には謝罪をしています。職員への聴き取りの中で介護職員の報告態勢、入居者様間の不満を早期に解決できなかったことが課題点として挙げられました。

これらの事故は各部署交え検討しそれぞれ再発防止策を講じています。それについては他部署より説明します。

以上2件含め、ご家族様には必ずご連絡をしています。そのお電話にて、当苑の都合を深くご理解いただき、むしろ職員へ申し訳ないといったお言葉や労いのお言葉をかけてくださるご家族様が非常に多いです。本当に感謝しております。

② 新型コロナ等感染症の感染状況について

5F風にて8月末日より新型コロナの感染が発生し入居者様3名、職員1名が感染しました。ご家族様には大変なご心配をおかけしました。

陽性が疑わしい方へは、抗原検査キットやPCRを用いて検査の上、居室にて隔離し対応し

ています。高齢者は、重篤化するケースがあり今後も厳重な管理が必要です。

ご家族様へは、面会のお断りや制限などで対策にご協力いただいています。尚、そのような状況下でも、終末期と考えられる入居者様等については面会制限の緩和も検討可能です。ご相談ください。

③ 利用料のお支払いについて

負担限度額の段階層が上がり、入居者様全体で負担割合が増幅しています。入居者様の中には預貯金を切り崩しながら、あるいはご家族様が負担しながらお支払いいただいている方もいらっしゃいます。相談員自身、経済的なご相談を受ける機会が増えているように感じます。もし、そのようなご相談がありましたら困窮する前にお願いします。

【医務科】

当苑主治医は宇都宮中央病院の岡村 Dr となっておりますが、ご家族様が先生と話す機会はなかなかないと思います。毎週土曜部 14 時～16 時頃回診で来苑しているので直接お話ししたい場合は相談員までお伝えください。

【栄養科】

① 食事提供について

介護科が主催する食事を伴うイベントにて、給食では提供しない寿司やファストフードといった嗜好に沿った提案に対し提供が可能なよう協力することもあります。

② 栄養管理について

月 1 回の体重測定を基に BMI を算出・健康診断や受診時の採血結果・日々の食事量、水分量の把握・食事形態の確認・咀嚼嚥下に不安のある入居者様の確認としておやつ時医師含めて実施しているミールラウンド・歯科医師記録の口腔状態記載書類の確認
…これらの内容を、医師・看護師・介護士・ケアマネ・相談員の多職種で連携を図り計画書へ取り込んでいます。計画書の確認は、担当者会議にてご家族様に説明し確認していただいています。

入居者様の食事量の低下時や認知症の進行状況などにより、ご本人様が食べられる範囲での食べたい物の差し入れをケアマネや相談員よりご連絡することがありますのでご協力ください。

【介護科】

① 夜間の巡視に関して

入室をして所在の確認、顔色、表情、呼吸の変化がないかを再度各階通知し実践をしている最中。しかし、入居者様の中には徘徊する入居者が自室に入っこないよう鍵を施錠する方や入室そのものを拒否する入居者もいらっしゃる為そのような方は個々に対応させていただきます。

② 介護職員の報告態勢に関して

相談員が新しく変わったこともきっかけとして、連携の再確認を行っています。通常の申し送り以外にも各階1日リーダーを設置して報告漏れ防止に対応しています。また、居室担当を中心に問題点を抽出し多職種と連携していきます。

③ 持込衣類に関して

黒い色の衣類だと、サインペンで記名するのが難しくなるので黒以外の色の衣類の持込みをお願いします。

【2F】

職員が辞めない職場づくりを意識して取り組んでいます。その結果職員間利用者間ともに馴染みの関係を構築できています。職員の顔、名前を覚え話しかけられたり手を振ってくださる入居者様もいらっしゃいます。今後もこのような信頼関係維持の為努めていきます。

【3F】

前述どおり3Fで入居者様の暴力行為がありました。これは以前手をあげる行動を職員が見た時早期に対応できなかった為エスカレートし当該事故に至ってしまいました。本日お二方のご家族様はご出席されていませんが、多大なご心配をおかけしてしまって申し訳ございませんでした。今後は職員一同気を配り業務にあたっていきます。

3Fでは入居者様が元気に生活ができるよう笑顔がでるコミュニケーションや先日開催した秋祭り等のイベントやレクリエーションで楽しんでいただいた。職員も同様に仕事を辞めない人間関係作りを全員がしていき、ご入居者においてもどの職員にも何でも頼めて楽しく会話ができる関係作りを意識して業務を行っている。

【4F】

入居者様への声掛けを課題の一つとして職員全員で取り組んできました。リーダーを中心として指導を行い、先月は施設全体に4F職員が「言葉の拘束」について研修を実施し意識の向上を図りました。

私は入居者様主体を大切にしたいと考えています。食べたい物ややりたいことをどうすれば実現できるかを担当の職員が中心となり考え、他部署に相談し実行しています。その他にも入居者様同士で集まり歌を歌ったりユニットの垣根を越えての交流を大切にしています。入居者様の気分でどこのユニットでも安心して過ごせ津フロアでありたいと考えています。

【5F】

各入居者様担当職員が誕生日会の企画や工作等レクリエーションの実施を職員同士で話し合いながら行っています。私自身ユニットリーダー研修を受講中であり、横浜の施設にて実地研修を行いユニットケアに関して学んだ。現在5Fではユニットの環境づくりに焦点を当て入居者様が自由に使用できる本や塗り絵を置いたり自由にフロア内で過ごしてもらえるような環境を準備しているところです。

前回の家族会では一人一人の希望に沿った生活が送れることを目標に24時間生活シートを作成中とお伝えしましたが、その後研修を通して24時間シート作成の前に入居者様の性

格や入居前の生活を知った上で 24 時間生活シートを作成することが必要と考え、現在は「私ノート」という入居者様に沿ったツールを用いて実践中。

【事務科】

毎月の利用料、日々の預り金などの管理をしております。現状、事務部門は人員数が手薄になっており、募集をかけています。応募されてきた中で、業務につく者もいますが、一般事務とは違い業務も複雑で多岐にわたります。そのような中で業務を覚えている途中、ご家族様からのハラスメント行為ともとれるような言動を受けたことが原因で退職してしまうという者も一人いました。

コロナ禍でさらに業務量も増え、また、修繕や送迎、ご家族様からの金銭の管理など非常に多忙な業務ではありますが、ご家族様方にはご理解とご協力をいただき感謝しております。

今後も、トラブルやご迷惑をおかけすることがあれば、ご連絡いただき、また、新入職員が入った場合は、変化に応じた対応がございまして、重ねてご協力、ご理解の程宜しくお願い致します。

【ケアマネジャー】

昨年 11 月からご家族様参加での担当者会議を再開しており、多数のご参加ありがとうございます。会議の際「皆さんよく見てくれているので安心しています」と、うれしいお言葉をいただくこともあり、とても感謝しています。仕事や家の都合で参加できないご家族様もいらっしゃると思いますが、職員と話ができるいい機会だと思います。日程はある程度ご家族様の都合に合わせていただけますので是非ご出席をお願いします。

先ほど相談員から事故や入居者様同士のトラブルについて話がありましたが、巡視に関しまして、基本は小窓からの確認だけではなく居室に入らせていただき、容態観察を含めた巡視を行っています。入居者様の中には居室に入られる、小窓から覗かれる、明かりで照らされる、トイレを覗かれることを嫌がる方がいます。そういった方は、こういった形で巡視を行うかケアプランに記載させていただき、担当者会議でも説明をさせていただきます。入居者様同士のトラブルに関しまして、初期の段階から両方の入居者様に思いやストレスに感じていることなど問題となっていることの聞き取りを行い、職員間で情報を共有し、トラブルを未然に防げるよう対応してまいります。

介護保険の法改正があり、4 月から口腔ケアが重点事項となっています。口腔ケアの一番の目的としては誤嚥性肺炎の予防です。先日、歯科医師による勉強会がありましたので、その資料から一部抜粋して読ませていただきます。

誤嚥性肺炎とは口腔内や気道に定着している微生物、細菌の誤嚥によって生じるもの、逆流した胃の内容物の誤嚥によって生じるもの、異物を繰り返し誤嚥することにより生じる

ものがあります。高齢者の肺炎では熱・咳・痰・呼吸困難等の症状が見られますが、中には気管内に水分や食べ物が入っても咳やむせなどの症状が見られない誤嚥もあります。口腔内が汚れる原因としては清掃状態の悪化、義歯の不適合・不適切な管理、唾液分泌と口腔内の乾燥、咀嚼障害、摂食・嚥下障害、残存歯の減少があります。また、歯も入れ歯もない方、口から食事を摂っていない方でも細菌が存在しています。肺炎予防のためには毎日の口腔ケアが非常に重要で、一人ひとりに見合った口腔ケアを行う為には、歯科医師や歯科衛生士による専門的指導と介入が必須となりますので、是非歯科受診を継続していただけたらと思います。

また、今年8月にありました監査でも口腔ケアの指摘がありました。年2回の研修や指導を受けながら誤嚥性肺炎予防のために口腔ケアに取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。入居者様の生活をより良くするために、ご希望やお気づきのことがありましたらご相談ください。

【施設長】

① 事故等について

トイレで転んでいた事例については、入居者様自身がトイレへの巡視行為に拒否がある方で巡視を行わなかったためすぐに発見できなかった。鍵をかけて就寝している方もいるので、安全を確認するための巡視を受け入れていただけるよう個々に相談し、ケアプランに記載していくのでご了解ください。

利用者同士の暴力についても、止めに入っていたが暴力になる前にいさかきが置きそうであれば、部屋を変えるなど対応すべきだった。ユニット特有の顔なじみの環境は大事だが、安全のため部屋や席の変更も場合により必要。

介護保険施設では身体拘束をせず、ベッドも手すりでも囲わず自由の下りられるようにしなければいけませんので、事故のリスクが高まります。しかし、出来るだけ入居者様に自由に生活していただき、ここを安全な居場所と思い、朗らかに生活していただきたい。事故と裏腹な部分はありますが、その点をご考慮下さい。

② 各階の状況について

各階のリーダーから状況報告がありましたが、お便りの中でも各階の差を感じる事がおありだろうと思います。最低限の排泄、食事、入浴などは何処も同じように行いますが、レクリエーションや各ユニット単位の行事はその階のリーダーや職員の考え方により差が生じています。家族会等の機会に是非、皆様の御意向を各階の運営に生かせるようご要望などをお伝えください。また、各階の差を是正するため、1月よりリーダーの一時入替を考えています。

③ お薬について

利用料の増大が気になるころですが、医療費の削減のためにも処方されている薬の内容をご確認ください。主治医が土曜日に毎週来苑されていますので、ご予約いただいて直接

お会いする機会を作り、ご家族のご要望、終末期への希望などお伝えください。

④ 空調機の入替

今年度行う予定で見積もりを取っていましたが、補助金の条件に工期が間に合わないという事で来年度に持ち越しとなっています。春からユニットごとに修繕が入る予定なのでご了承ください。

⑤ 冬期の外出・面会

コロナは風邪などと同様の扱いになりましたが、依然介護施設ではまん延による死亡者が出ています。毎年11月後半頃から感染拡大期に入りますので、状況により散歩以外の外出は禁止、面会も制限は強化する可能性がありますのでご承知ください。

⑥ 加算に関して

現在算定している②が要介護3の待機者が増えてきており算定できなくなるかもしれない。

その代わりに③を取るようになるが年間1千万の減収となる。利用者の皆様にとっては利用料が安くなる。⑧は管理栄養士が現在③名在籍しており、すでに算定できるが今後算定する見込みです。⑨⑩⑱についても条件が整ったら算定する予定だが、決まったら報告します。

⑦ 面会や行事への参加に関して

毎月ご参加有難うございます。ボランティアさんがコロナ前の活動数になかなか戻らない状況です。お時間が合えば是非ご協力下さい。ご家族様の介入があることが施設の健全な運営にも役立ちますので是非お手伝い下さい。

【座談会】

2階グループ

Q：保育園のように職員数は3歳児は何人、4歳児は何人と決まっていないのか

A：現在各階の利用者様の介護困難度に差はなく、差があったとしても、状態により利用者様を分けることもできない。大変な時は手伝うが保育園のようなシステムはない。

Q：利用者様同士の暴力は何が原因だったか

A：食事の仕方などが気になり注意をしても、治らないため徐々に暴力になってしまった。

Q1：コロナ以外のマイコプラズマ肺炎や手足口病などの感染症についての対策は

A：まずは持ち込まない、持ち出さない事。職員は家族に風邪症状があっても出勤しないようにしており4日間は休み事になっている。病院の後ろ盾がある為比較的感染症の対応については比較的厳重に管理できていると自負している。

Q2：居室のエアコンにカビがついており指摘した。カビも肺炎の原因になるのもっと気

を付けてほしい。

A：清掃員がすぐに掃除したが、職員も毎に位置居室に入っていて気が付かなかった。清掃員が4名いるが高齢だったり障害があったりで気づかないこともある。職員も気を付けるよう周知しているがご家族様が気づいたらご連絡ください。主任も各階で気づいたら掃除するようにはしているが追い付かない。

【3階グループ】

Q1：いずみ苑のホームページは公式のもの以外にもあるのですか？

A：公式のもの1つしかありません。

Q2：多床室の話が出たが、いずみ苑にも多床室にはあるか？そこには移れるか。

A：当苑にはありません。移る際は他施設への転居のみが該当になります。

Q3：今後も利用料は上がりますか。

A：その際は事前に通知、連絡させていただきます。

Q4：終末期の判断というのはどのような状態、段階なのでしょう？

A：食事の自己摂取が難しくなる、日中も傾眠が多くなるなどの状態、日常の生活動作が低下してきている状態です。最終的には医師の判断も含まれます。

【4階グループ】

Q1：入居者本人の顔にカサツキが見られる為、施設購入にて軟膏を提供してもらうことは可能か？

A：ドラッグストア等で購入できるワセリン等の方がご本人様の肌には合う為問題ない。もし受診が必要な状態だと、医師の診察の上処方してもらう。

【5階グループ】

Q1：12月2日より紙保険証が使用できなくなりマイナ保険証に切り替わるが、ここでの対応はどうなるのか。必要なら資格確認書を取り寄せないといけないから知りたい

A：まだ苑には連絡きていない為、早く知りたかったりする場合は、市へ確認した方が早いかなと思います

Q2：空調工事があると言っていたがいつ頃で切り替わるのか、工事のスケジュールはどうなるのか、また故障した時のように相部屋になるのか知りたい

A：1月に入札時期の為、工事の日程はまだわからないと思う。日中の工事のみ、日中で終わるのであれば日中は部屋で過ごさず違うユニットか5階は狭いので1階に降りて過ごす場合もある。詳しく決まり次第お便りやホームページに掲載するかと思いますが面会時などに報告できるようであれば職員の方からもご家族様へお伝えできればと思います。

Q3：病院の送迎は今誰が行っているのか

A：相談員、事務所で行っています

Q4：入所してまだすぐでよくわからないがレクリエーションというのは、ユニットごとにやるのか、全体でやるのか教えて欲しい

A：レクリエーションの内容によりますが、個人個人で行う事もありますが、大人数で行った方が予算が安く済むこともあるので5階は5階全体で行う事が多いです。いつもの食事料金やおやつ料金より金額がオーバーしてしまうこともありますなるべく金額が抑えられるように内容も検討もしています。誕生日会などは利用者様本人と話をして食べたい物、行いたいことがあれば担当職員が企画して行っています。

Q5：ボランティアが少ないというが今は何をしていますか

A：現在は外部からは傾聴ボランティアの方が来てくれていて、その他は相談員を中心にカラオケクラブや、書道などを行っています

Q6：おばあちゃんは昔から動物が好きで、家でも飼っていて触っていたからドッグセラピーとかはどうでしょう

A：以前1度来てもらったことはあります。検討していきます。